

## 人事院契約監視委員会 第13回会議 議事概要

### ○ 開催日

平成26年6月25日（水）

### ○ 場 所

中央合同庁舎第5号館別館 第二特別会議室

### ○ 人事院契約監視委員会（敬称略）

委員長 田辺国昭（東京大学大学院法学政治学研究科教授）

委 員 工藤裕子（中央大学法学部教授）

小林 覚（小林覚法律事務所弁護士）

### ○ 会議概要

#### 1 人事院が締結した契約等について（平成25年度下期）

会計課長から、平成25年度下期の総契約数12件の内訳（一般競争契約7件、競争性のある随意契約（企画競争・公募）3件、競争性のない随意契約2件）、入札及び契約手続についての状況等が報告され、委員会で（1）のとおり了承された。

また、契約案件の審査にあたり、あらかじめ委員長が抽出し、各委員から審査対象とすることが了承された（2）の3件について、事務局から委員会に契約の内容等を説明し、委員会で（3）のとおり質疑がなされ了承された。

#### （1）平成25年度下期の審査対象契約案件12件について

意見・質問	回 答
・全体の状況について特段の問題はないとして了承された。	

#### （2）抽出契約案件

〔随意契約〕

① 契約件名 : 人事・給与関係業務情報システムの機器・ソフトウェア賃貸借及び保守（延長）

契約相手方 : 沖電気工業株式会社

契約金額 : 11,349,292円

契約年月日 : 平成26年2月28日

担当部局 : 職員福祉局電子化推進室

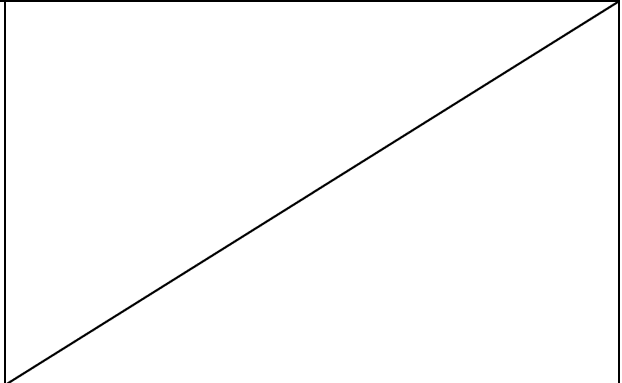
〔1 者応札〕

- ② 契約件名 : 人事・給与関係業務情報システムの運用サービス業務（政府  
共通プラットフォーム）  
 契約相手方 : 富士通株式会社  
 契約金額 : 880,080,240円（平成25年度～平成29年度までの国庫債  
務負担行為による契約）  
 契約年月日 : 平成26年1月17日  
 担当部局 : 職員福祉局電子化推進室
- ③ 契約件名 : 国家公務員採用試験用時計の購入  
 契約相手方 : リズム時計工業株式会社  
 契約金額 : 9,922,500円  
 契約年月日 : 平成25年10月17日  
 担当部局 : 人材局試験課

(3) 質疑内容

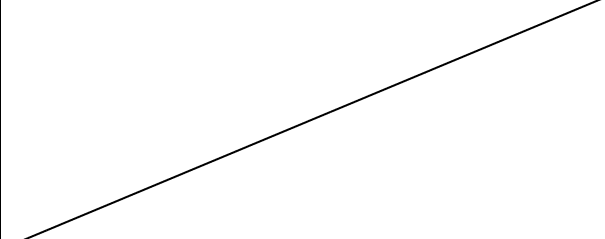
- ① 人事・給与関係業務情報システムの機器・ソフトウェア賃貸借及び保守（延  
長）

意見・質問	回 答
<p>・当初の借上げ契約の際に、もう少し長く借り受けることとしてい れば、随意契約をしなくても済ん だ案件なのではないか。</p>	<p>・当初から複数年度に渡る国庫債務負担 行為としての予算が組まれていたため、 その期間に基づき契約をしたというこ とがあり、国庫債務負担行為として認めら れた期間をさらに延ばすことができな かった。現在、人給システムを導入した府 省については導入時期によって第1期か ら第4期まで機器等を借り上げているが、 借上げ開始時期との関係で借上げ終了ま での期間がばらばらになっている。第3 期の契約期間終了が平成26年10月末 までとなっており、データの移行状況も 見ながら契約の延長をかける必要があ ったため、第1期分について年度末まで の1か月間契約を締結した。</p>
<p>・今回対象となっている案件は、 第1期分に係る機器について平成 26年3月31日まで随意契約を した後、4月から10月まで延長</p>	<p>・随意契約審査委員会に再度諮って再延 長となっている。当初10月までの延長 予定であったが、今のところ7月末まで に第1～第3期までのデータについては</p>

<p>の予定となっているが、この部分は再延長になるのか。</p>	<p>政府共通プラットフォームに移行できる目処が立っており、第1期及び第2期を7月末まで延長し、第3期については7月末で契約を解除する予定である。</p>
<p>・随意契約審査委員会の構成メンバーはどのような構成員になっているのか。</p>	<p>・総括審議官を筆頭として、各局の筆頭課長がメンバーである。</p>
<p>・当初の契約期間の在り方について設定が甘かった感じもするが、今回の随意契約を締結すること自体には合理性があると考えられる。契約額についても高額になっているということもないので委員会の意見としては特に問題なしとする。</p>	

② 人事・給与関係業務情報システムの運用サービス業務（政府共通プラットフォーム）（一般競争契約（1者応札））

意見・質問	回答
<p>・入札説明書を手交した業者は何社だったのか。</p>	<p>・入札説明書を手交した業者は7社で、うち入札説明会に参加した業者は4社である。</p>
<p>・入札の1回目の調達が不調となっているがこれはなぜか。</p>	<p>・予定価格よりも業者が示した金額が高かったためである。このため、再度入札を行った。</p>
<p>・業者から提出された参考見積と入札書を比較すると入札額がかなり低いなぜか。</p>	<p>・業者は参考見積を求められた際は、一般的な額で見積もってくるが、入札の際は、競争を意識してさらに参考見積よりも低い額で入札する。</p>
<p>・今回の案件は、1者応札となった原因の一つに人員の確保ができないという声があったとのことであり、大手でもかなり厳しい作業というのはわかるが、5年間続けて契約しな</p>	<p>・予算上、5年間の国庫債務負担行為として設定されているため、このような契約となっている。</p>

<p>ければならなかったのか。</p>	
<p>・業者としては5年間責任を持って人員を確保するというのは、将来に渡って計画を立てなければならぬので、他の事業が立て込んでいる場合は応札が難しいということだと思いが、本件はかなり大きな調達案件になるので、1件目の案件のような随意契約の場合と少し異なるが、逆にこれまで契約をしていた業者の方が技術的にも熟知しているので入札を行わず、そのまま続けて随意契約を締結することはできなかったのか。</p>	<p>・透明性の問題があり、基本的に入札を実施する必要がある。仮に継続して随意契約を締結するにしても説明責任が生じる。</p>
<p>・1者応札ではあるが、応札を辞退した業者にはきちんとその理由を聴取しており、やむを得ないと認められるため、委員会の意見としては特に問題なしとする。</p>	

③ 国家公務員採用試験用時計の購入（一般競争契約（1者応札））

意見・質問	回答
<p>・これまで使用していた時計はいつ頃購入したのか。</p>	<p>・平成12年度に入札を行い今回落札した業者が製作した。減算式の大きな時計の製作をする企業がなくなってきているため、大手の下請けをしている企業にも連絡をしてみたものの応札がなく、結果として過去実績のある企業が落札した。</p>
<p>・そもそもこのような時計が必要なのか。</p>	<p>・1次試験の際、受験者の正面の教卓に置き、試験の正味時間を確保していることを受験者に明示するため必要である。試験中は減算により残り時間がわかるようになっている。時計そのものは受験者が持っているので、試験の開始時間が遅れた場合などでもきちんと正味時間を確保するためのものである。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・時計は試験官が見るためのものか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験官も見るが、受験者も確認しているので時計のサイズもある程度の大きさが必要である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学等の試験ではこうした時計は使っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去に試験官の勘違いで正味時間を誤ったという事例があったので必要である。 また、高卒程度試験の中には、スピードが要求される適性試験があり、分、秒単位までの管理が必要な試験がある。また、短時間で限られた持ち時間の中で受験者が発表しなければならない討議試験にも使用されている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験時間は長時間にわたるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1つの試験種目で最大4時間にも及ぶ試験があるので市販のキッチンタイマーでは計測できないし、生産台数が1000台位だと業者もなかなか採算ベースに乗らないようである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1者応札ではあるが、特殊な時計の製作であることからやむを得ないと思われるため、委員会の意見としては特に問題なしとする。</li> </ul>	

○ 委員会からの意見具申及び勧告

特段の問題はなく、意見具申及び勧告はなかった。

2 人事院調達改善計画の自己評価結果について（平成25年度末）

会計課長から、第11回契約監視委員会です承された平成25年度人事院調達改善計画に基づき実施した取組に対する自己評価結果について説明し、委員会です承された。（※内容は人事院ホームページの「平成25年度調達改善計画の年度末自己評価結果」に掲載）

3 平成26年度人事院調達改善計画（案）について

会計課長から、計画案に関する内容について説明し、委員会です承された。（※内容は人事院ホームページの「平成26年度調達改善計画」に掲載）

以 上